

「国有林材の安定供給システム販売(素材)」の結果公表

令和3年7月27日に公告しました「国有林材の安定供給システム販売(素材)」について、「申請書」及び「企画提案書」等を審査した結果、下記のとおり決定しましたので公表します。

記

1 システム販売の目的

一定の要件を満たす工場等と近畿中国森林管理局長が国有林材の販売に関する相互協定を締結し、その協定に基づき計画的な販売を実施することにより、国有林材の需要、販路の確保・拡大を図り、併せて地域における中核的な素材流通・製材の担い手の育成、流域管理システムの推進等に資することを目的とし、山元において販売するものです。

また、民有林材と国有林材をあわせた国産材の自給率アップに向けて、原木市場でB材・C材といわれる一般材及び低質材の利用・販路の確保等への取組を支援しています。

2 応募状況及び審査内容

(1) 応募状況

番号	森林管理署等	公募内容		応募件数	備考
		樹種	数量(m ³)		
46	石川	スギ	100	1	
47	岡山	スギ	650	—	取り止め (生産事業入札不調)
48	岡山	スギ	1,565	2	
49	石川	原料材N	100	1	
50	和歌山	原料材N	600	1	
51	岡山	原料材N	1,460	—	取り止め (生産事業入札不調)
52	岡山	原料材N・L	3,110	2	
53	岡山	原料材N・L	120	2	

(2) 審査内容

企画提案書等の内容が、①システム販売の対象となる需要者の要件を満たしているか(必須項目)、②企画提案する10項目の取組内容(取組評価点)及び山元購入希望単価(価格点)等について、審査しました。

3 審査結果

番号	協定締結者	企 画 提 案 の 概 要	
		企画提案する取組	山元購入希望価格 スギ・ヒノキ (円/m ³) 原料材N・L (円/t)
46	石川県金沢市東蚊爪町1丁目23番1 石川県森林組合連合会 代表理事会長 近藤 安為	<ul style="list-style-type: none"> ・有利販売を目的に需要量の把握、木材規格の周知等を提供すると共に、大口需要先へ直送することで流通の効率化が図られる。また、低質材は山土場で可能な限り仕分けを行い、山土場からの直送販売を展開している。 ・県産材の需要拡大及び森林資源の循環利用を通じて地域経済が潤うように働きかけを行っている。 	<p>平均単価</p> <p>スギ 5,900 円</p>
47	取り止め	—	—
48	岡山県津山市上田邑2880番地 株式会社 津山総合木材市場 代表取締役 木下 恒久	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの製材所の要求に対応し、求められている材質、径級、長級などを的確に仕分けし、加工時におけるリスクの低減と無駄を省くことにより、より一層の製材コスト削減に関与し、いかなる大量消費にも対応できるよう、機械的選木技術の向上に努め、その為の安定供給源としてシステム販売を活用し、場合によっては選木ラインの強化を行い、海外への製品輸出の一助的存在として協力する。 ・近隣のバイオマス発電所に対して輸送コストの削減になり、安定的に供給することができ地域業界の発展に寄与できる。 ・定期的な出材により、数量を確約することで輸送コストや季節的な影響等の回避が行え、より安定的に供給でき販売網の拡大につながる。 	<p>平均単価</p> <p>スギ 8,600 円</p>
49	石川県金沢市東蚊爪町1丁目23番1 石川県森林組合連合会 代表理事会長 近藤 安為	<ul style="list-style-type: none"> ・有利販売を目的に需要量の把握、木材規格の周知等を提供すると共に、大口需要先へ直送することで流通の効率化が図られる。また、低質材は山土場で可能な限り仕分けを行い、山土場からの直送販売を展開している。 ・県産材の需要拡大及び森林資源の循環利用を通じて地域経済が潤うように働きかけを行っている。 	<p>平均単価</p> <p>原料材N 2,500 円</p>
50	和歌山県田辺市新庄町2070番地の3 株式会社 井硯林産 代表取締役 井硯 啓次	<ul style="list-style-type: none"> ・無線式油圧集材機と架線式グラブが弊社の協力会社に今期の導入が決定した。これで安全に快適に出材が出来て、搬出量増加にもつながる。 ・運送事業者の仕事量が増え、ドライバーの給料増加、燃料の消費量の増大等で、地域経済の活性化を計れる。 ・MDFの国産材利用拡大を図り、需要をどんどん創造していきたい。 	<p>平均単価</p> <p>原料材N 3,800 円 原料材L 3,800 円</p>
51	取り止め	—	—
52	島根県松江市西津田一丁目2番14号 山陰丸和林業株式会社 代表取締役 北岡 幸一	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を幅広く展開していく為の人材育成及び林業従事者への技術継承。 ・生産量及び品質向上の為の加工機械、重機等の買い替え。 ・バイオマス用燃料チップに関しては、原料原木を乾燥する為に、はい積方法等を考慮しながら保管しているが、入荷量が少ない時期はどうしても保管期間が短くなってしまふ。システム販売材と民有林材を多く購入することで保管期間を長く乾燥させたい又、製品についてもできるだけ自然乾燥させ輸送過程でも水分を含ませないようシートで覆い、水分の低減に努め、製品の付加価値の向上を更に目指し多少でも原木買取価格の上昇に繋がるよう努力する。 ・広範囲に製品販売を行っていることと、自社車両を多く所有している為、それらを利用し帰り便等にて組合せることで流通工程の無駄を省く。 	<p>平均単価</p> <p>原料材N 5,800 円 原料材L 5,800 円</p>
53	岡山県津山市上田邑2880番地 株式会社 津山総合木材市場 代表取締役 木下 恒久	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの製材所の要求に対応し、求められている材質、径級、長級などを的確に仕分けし、加工時におけるリスクの低減と無駄を省くことにより、より一層の製材コスト削減に関与し、いかなる大量消費にも対応できるよう、機械的選木技術の向上に努め、その為の安定供給源としてシステム販売を活用し、場合によっては選木ラインの強化を行い、海外への製品輸出の一助的存在として協力する。 ・近隣のバイオマス発電所に対して輸送コストの削減になり、安定的に供給することができ地域業界の発展に寄与できる。 ・定期的な出材により、数量を確約することで輸送コストや季節的な影響等の回避が行え、より安定的に供給でき販売網の拡大につながる。 	<p>平均単価</p> <p>原料材N 5,600 円 原料材L 5,600 円</p>